

# 羽田空港再拡張に伴う国内航空路線の発着枠の確保について

【国土交通省】

## 提案・要望の内容

高速交通ネットワークの整備が遅れている地方にとって、地方航空路線は、地域の発展と自立に極めて重要な役割を担っている。

平成22年に予定されている羽田空港再拡張後の発着枠の配分については、次の点に配慮すること。

- 1 国内・国際線の枠配分の決定に際しては、国内航空路線へ優先配分すること。
- 2 国内線においては、代替交通機関が未整備である地域に優先的に配分すること。

|        |       |              |
|--------|-------|--------------|
| 出雲空港   | ～羽田空港 | 現行 5 便→ 6 便へ |
| 萩・石見空港 | ～羽田空港 | 現行 1 便→ 2 便へ |
| 隠岐空港   | ～羽田空港 | 新規就航         |

## ※島根県内空港配置

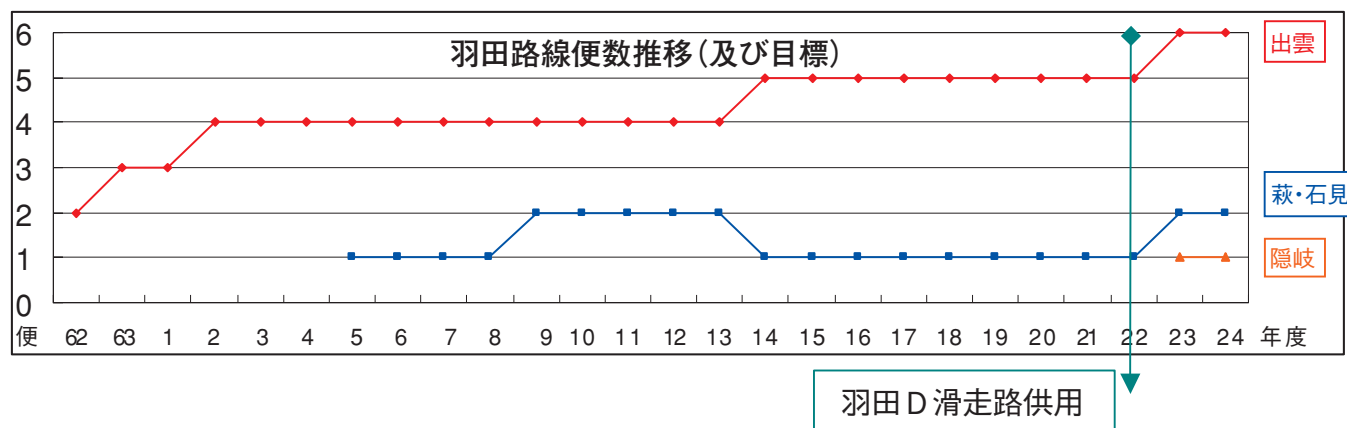


【現状と課題】

- 島根県内3空港では、羽田空港間の路線について、各航空会社へ増便（開設）を要望しているが、同空港の発着枠が上限に達していることから、新たな枠配分がない限り、実現は困難視される。

県内3空港の羽田路線状況

| 空港名                       | 出雲空港   | 萩石見空港   | 隠岐空港                            |
|---------------------------|--|---|---------------------------------|
| H20年度利用者数(人)              | 565,594  | 46,185  |                                 |
| 代替交通機関(乗換新幹線駅)<br>同最速所要時間 | J R (岡山)<br>6:23   | J R (新山口)<br>6:08   | 高速船+J R (岡山)<br>8:38            |
| 現就航会社<br>便数動向(往復/日)       | J A L<br><b>5 便</b><br>(H14年7月増便)<br>↓<br><b>6 便化要望中</b> | A N A<br><b>1 便</b><br>(H14年12月減便)<br>↓<br><b>2 便化要望中</b> | <b>未就航</b><br>↓<br><b>就航要望中</b> |



【本県の取組状況・方針】

- 各空港利用促進団体と共同で、羽田路線の利用促進活動に取り組んできた。
- 運航会社に対して、各空港利用促進団体と共同で、羽田路線の増便を度々要望してきた。

【提案要望の効果】

- 首都圏には人口、経済及び教育・文化などが集積していることから、首都圏と地域との間の利便性が向上することにより、産業振興及び人口定住などの面で地域活性化に資する。